

## 令和2年度「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」事業概要(大仙市)

### 1 市の概要(人口 79,233 人)※令和3年1月1日現在

就学前教育・保育施設数、小学校数(令和2年4月1日現在)						
幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	地方裁量型 認定こども園	小学校
0 園	0 園	9 園	14 か所	1 園	0 園	21 校

その他:小規模保育施設1 事業所内保育施設1

### 2 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題
(1) 園、小学校互いの見方、捉え方、子どもの育ちへの理解に相違がある。 (2) 小学校入学後の生活、学習に適応できないケースが見られる。 (3) 幼小の交流活動、参観は行われているが、その後の協議や情報交換等の機会が少なく、幼児教育から学校教育への接続を意識した環境づくりが必要。

### 3 事業計画の概要(3年間の主な計画)

目的(3年間)
・教育・保育アドバイザーを配置し、市内の教育・保育施設及び小学校への事業の周知をはじめ、園訪問、園内研修等への支援を行い、各小学校区の連携活動の状況、課題を把握し、相互参観や協議を勧め、幼小の円滑な接続の意識に繋げていく。
主な内容(3年間)
(1) 部局間連携による教育・保育推進体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育アドバイザーを子ども支援課に2名配置する。</li> <li>・県主催の連絡協議会、研修会、事業実施市の研修会に参加し、アドバイザーのスキルを磨く。</li> <li>・就学前教育にかかる当課及び教育指導課と情報伝達を通じ、連携を強化していく。</li> </ul>
(2) 教育・保育アドバイザーによる園の支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期訪問ほか単発派遣の活用を促し、継続的に園を支援。</li> <li>・園内研修に必要な指導、助言をおこない、保育士等の資質向上を図る。</li> </ul>
(3) 専門性の向上のための研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県要請訪問の機会を通じ、近隣施設間での保育参観、協議への参加や公開保育協議会に向けた地域で学び合う体制を構築する。</li> <li>・園の課題やニーズに即した研修会、講演会を実施し、保育の専門性を高めていく。</li> </ul>
(4) 小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校区の授業参観及び協議への参加を勧める。</li> <li>・公開保育研究協議会への参加を促し、幼児教育から学校教育への繋がり理解を深める。</li> <li>・子の育ちや学びの連続性を意識した研修会を実施する。</li> </ul>
(5) 県との連携体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県主催の協議会、研修会へ積極的に参加する。</li> <li>・県指導主事と連携し、本事業を円滑に進める。</li> </ul>
年度別重点
令和元年度   ・県主催の協議会、研修会等に参加し、次年度から実施する事業計画、準備を行う。

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育指導課と連携し、市内の教育・保育施設及び小学校へ事業周知を図る。</li> <li>・県及び事業実施市の研修会に参加し、教育・保育アドバイザーの資質向上を図る。</li> <li>・園訪問を実施し、園の課題把握、改善に向けた支援をおこなう。</li> <li>・幼小連携活動のアンケートを実施し、幼小の課題や状況を把握する。</li> </ul>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士等の資質向上を図るために小学校区や就学前教育・保育施設間でともに学び合う体制が定着できるよう働きかけ、研修会や公開保育研究協議会を通じて、ともに高め合う体制を整える。</li> <li>・幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、相互参観及び協議を推奨し、幼小連携体制を充実させていく。</li> </ul>

#### 4 令和2年度の具体

目 的
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育アドバイザーを配置し、市内の教育・保育施設及び小学校への事業周知をはじめ、園訪問や園内研修等への支援をおこなうとともに、各小学校区での連携活動の状況や課題を把握し、相互参観や協議を勧め、幼小の円滑な接続の意識に繋げていく。</li> </ul>
実施内容 <成果○と今後の課題●と◇改善の方策>
<p><b>(1) 「部局間連携による教育・保育推進体制の充実」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育アドバイザーを子ども支援課に2名配置。(うち1名市費)</li> <li>・教育保育アドバイザーの役割、事業周知を行う。</li> <li>・教育委員会との事業打ち合わせ、協議。</li> </ul> <p>○保育士等が、より良い教育・保育の在り方についての意識が高まってきている。 ○教育に精通した教育・保育アドバイザーの配置により、教育指導課との連絡や小学校へのアプローチがしやすい。</p> <p>●幼小の相互理解を更に深めるため、市教育指導課との連携強化が必要。 ◇定期的に市教育委員会と打ち合わせの場をもち、事業の進捗状況の報告や幼小連携の在り方について互いに検討、確認しあい、情報共有を図る。</p> <p><b>(2) 「教育保育アドバイザーによる園や保育者への充実した支援」</b></p> <p>□園訪問(園の課題把握、課題に向けた支援)市内全教育保育26施設訪問 ・定期訪問(前期5月～6月、後期12月～1月) ・単発派遣訪問</p> <p>① 西仙あおぞらこども園(男性保育会) 内 容：園内研修について(4歳児の保育参観、保育の振り返り、協議) 日 時：令和2年8月27日(木) 午前9時30分～午後3時30分 参加6名</p> <p>② おおたわんぱくランド(男性保育会) 内 容：園内研修について(4歳児の保育参観、保育の振り返り、協議) 日 時：令和2年10月6日(火) 午前9時30分～午後3時 参加6名</p> <p>③ 角間川保育園 内 容：園内研修、保育内容、保育の資質向上について(2歳児の保育参観、研究協議) 日 時：令和2年10月19日(月) 午前9時30分～午後4時00分 参加11名</p> <p>④ 大曲乳児保育園 内 容：指導計画、保育の内容、園内研修について(1歳児の指導計画と保育の内容) 日 時：令和2年11月4日(水) 午前9時30分～午前12時00分 参加3名</p> <p>⑤ 藤木保育園 内 容：園長等からの相談、課題に対する情報提供(園長、園長補佐からの聞き取り) 日 時：令和2年11月9日(月) 午前10時30分～午前12時00分 参加3名</p> <p>⑥ 内小友保育園 内 容：指導計画、保育の内容、園内研修について(5歳児の指導計画と保育の内容) 日 時：令和2年11月24日(火) 午前9時30分～午前12時00分 参加3名</p>

- ⑦ 大曲北保育園  
内 容：園内研修、保育内容、保育の資質向上について（5歳児の保育参観、研究協議）  
日 時：令和2年11月30日（月）午前9時30分～午後4時00分 参加11名
- ⑧ 内小友保育園  
内 容：保育の内容、園内研修について（5歳児の保育参観、保育の振り返り、協議）  
日 時：令和2年12月1日（火）午前9時30分～午前12時00分 参加12名

- 教育・保育アドバイザーの活動が周知され、気軽に相談してくれるようになった。
- 各園の教育・保育目標や取組が把握でき、園の課題に向けた支援ができつつある。
- 事業の計画がずれ込み、前期訪問は外部接触を控え、園長への聞き取りのみとしたため、保育内容の把握、情報共有が不十分だった。
- 園数が多く、保育士一人一人により添ったアドバイスは難しい。
- ◇コロナ禍であることをふまえ、園訪問は計画に余裕をもたせ、園内研修や保育参観の機会に相談できる時間をもつ。

□園内研修

- ・市内10施設：四ツ屋こども園、大曲中央こども園、おおたわんぱくランド、すくすくだけっこ園、日の出ベビー保育園、大曲南保育園、協和まほろばこども園、大曲駅前こども園、大川西根保育園、大曲東保育園
- 保育士自らの「育てたい力」について再確認できるようなアドバイスを行うことで、保育力向上の意欲が高まってきている。
- ワークショップ型の協議が園に定着しつつあり、保育士が活発な意見を出し合えるようになってきた。
- ファシリテーターや効果的な協議の進め方ができるよう、より教育保育アドバイザーの支援が必要。
- ◇園内研修の年間計画を把握し、協議がよりよく進められるよう支援をしていく。

◇令和2年度アドバイザーによる巡回訪問・指導の実績（大仙市）

⑥派遣目標 計 41 施設/全 51 施設 189 回	
回 数	・幼稚園：私立 園（ 回） ・保育園：公立 園（ 回）、私立13園（38回） ・幼保連携型認定こども園：私立 10園（36回） ・その他の施設：小規模保育施設1か所（2回）、認可外保育施設1か所（3回） 事業所内保育施設 1か所（3回） ・小学校： 21校（35回）
訪 問 内 容	・園内研修支援（保育改善、テーマ別、研修方法、研修計画）（目標のうち、13園（14回）） ・公開保育支援（指導・助言、公開保育研究会の運営・準備）（目標のうち、0園（0回）） ・個別相談（保育者の面談及び指導等、園の課題解決対応等）（目標のうち、1園（1回）） ・状況把握（保育の状況観察、園長等への聞き取り調査）（目標のうち、27 園（78 回）） ・周知活動（広報紙等での取組経過の伝達、事業内容説明）（目標のうち、27 園（27 回）） （目標のうち、21校（21回）） ・県と同行（指導方法研修、園の課題共有、指導内容の明確化）（目標のうち、21 園（21 回）） ・幼小接続（幼小接続に関する調査及び事業等）（目標のうち、14 校（14 回）） （目標のうち、15園、15回）
成 果 と	（成果）教育・保育アドバイザーの役割をパンフレットにし、当該年度の事業計画と併せて、市内の全小学校及び教育施設へ周知ができたことにより、教育保育アドバイザーの認知度が高まり、事業に対する理解が深まった。また、幼小接続に関するアンケートにより、各小学校区での連携活動の状況把

課 題	握ができ、幼小連携だより等を通じて、幼と小の相互理解が深められつつある。 (課題) 園内研修を充実させるため、保育士の意識改革を図り、保育士に寄り添った支援がより一層必要となる。
--------	--

**(3) 「専門性の向上のための研修の充実」**

□保育士が互いの保育を見合い、地域でともに学び合う

- ・県の指導主事要請訪問の機会を通じ、各施設の近隣教育保育施設職員2～3名を配置し、保育参観や協議をおこない、子どもの発達に応じた援助の在り方をともに考える。

**【要請訪問実施】**

保育園：10施設 認定こども園：10施設 事業所内保育施設：1施設

- 他園の保育を見合い、ともに保育の在り方や環境構成等について学び合うことができた。
- 保育参観、協議を通じ、保育士の研修意欲が高まってきている。
- 近隣施設間を意識して配置したが、年齢毎の研修を更に充実させていきたい。
- 県指導主事要請訪問の機会に得た地域で学び合う体制づくりを今後どう定着させていくか。
- ◇年齢別やキャリア別に応じ、どの施設への研修を希望するかアンケートを取り、保育士等が率先して研修できる体制づくりを支援する
- ◇地域で学び合う体制づくりの基盤を固め、要請訪問以外でも園同士での学び合いの場がつけられるよう働きかけていく。

□保育士の資質向上のための研修「大仙市保育実践力向上研修会」を実施。

- ・日常の保育に必要な指導計画の作成の仕方  
(乳児保育の発達の理解、幼児教育の発達の理解)について学ぶため、3歳未満児、以上児に分けて行う。

**【対象】市内の教育保育施設職員**

・研修Ⅰ

内 容：「指導計画作成のポイント 3歳未満児」

日 時：令和2年10月22日(木) 午後1時30分～午後3時50分

講 師：秋田県庁南教育事務所 幼保指導員 伊藤 トシ子 氏 参加24名

・研修Ⅱ

内 容：「指導計画の作成のポイント 3歳以上児」

日 時：令和2年10月23日(金) 午後1時30分～午後3時50分

講 師：秋田県庁南教育事務所 指導主事 石山 潤 氏 参加20名

※保育キャリアアップ研修対象(受講2時間)、参加レポートの提出、研修会アンケート実施

- 自身が作成した指導案を用いて学ぶことにより、指導計画の見直しが図られ、改善すべき点により明確になった。
- 具体的な事例やポイントをおさえた指導、互いの指導計画を見合う経験から、指導計画の作成についてより理解が深まった。
- 保育実践力向上研修会は、開催日時の変更や人数を制限しての実施となり、園での伝達に不安を感じていた参加者がいたため、研修内容を園内で共有に伝達し、研修の成果が発揮できるような関わりが必要である。
- テーマの内容は、保育士の関心が高く、研修時間がもっとほしかつたとの意見もあり、今後の研修ニーズ、参加可能な時期、時間の確保を工夫する。
- ◇ミドルリーダーの育成の必要であるため、指導する力をつける研修の計画をたてる。
- ◇研修会で学んだことを園で実践していけるよう、支援していく。

**(4) 「小学校教育との円滑な接続に向けた取組の充実」**

◇市内小学校(21校)へ事業周知のため、訪問。

- ・各小学校区で行われている連携活動等の情報を収集。（連携活動、年間行事等）
  - ・幼保小連携についてアンケートを実施。連携に対する課題、要望を取りまとめる。
- ◇各小学校区の教育・保育職員、小学校職員とともに授業参観・保育参観及び情報交換、協議をおこない、園と小との相互理解を深めていく。

<小学校の授業参観及び協議への参加>

① 大曲小学校

内 容：1年生の授業参観

日 時：令和2年5月27日（水） 午前9時30分～午前10時15分 授業参観

参 加：就学前教育保育施設職員11名

②大川西根小学校

内 容：1年生の授業参観（生活科）及び協議

日 時：令和2年6月25日（木） 午前9時25分～午前10時10分 授業参観  
午後2時50分～午後3時50分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員4名

③南外小学校

内 容：1年生の授業参観及び協議

日 時：令和2年10月21日（水） 午前10時20分～午前11時20分 授業参観  
午後3時10分～午後4時30分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員3名

④大曲小学校

内 容：1～4年生の授業参観及び協議

日 時：令和2年11月2日（月） 午前9時25分～11時10分 授業参観  
午後3時00分～ 4時30分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員17名（6園）

⑤清水小学校

内 容：1年生道徳の授業参観及び協議

日 時：令和2年11月4日（水） 午前9時30分～10時20分 授業参観  
午後3時00分～ 4：30分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員1名

⑥豊岡小学校

内 容：1～2年生 生活科の授業参観及び協議

日 時：令和2年11月24日（火） 午前10時40分～11時25分 授業参観  
午後 3時00分～ 4時40分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員1名

⑦神岡小学校

内 容：1年生2学級合同 生活科の授業参観及び協議

日 時：令和2年12月7日（月） 午前9時35分～10時20分 授業参観  
午後3時15分～ 4時45分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員2名

⑧四ツ屋小学校

内 容：1年生 学級活動の授業参観及び協議

日 時：令和2年12月15日（火） 午前9時10分～10時55分 授業参観  
午後3時10分～ 4時50分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員4名

⑨太田北小学校

内 容：1年生 生活科の授業参観及び協議

日 時：令和2年12月18日（金） 午前9時25分～10時10分 授業参観  
午後3時10分～ 4時30分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員1名

⑩太田東小学校

内 容：1年生 生活科の授業参観及び協議

日 時：令和2年12月22日（火） 午前10時35分～11時20分 授業参観  
午後 3時10分～ 4時40分 協議

参 加：就学前教育保育施設職員1名

協和小学校（コロナウイルス感染拡大防止により中止）

内 容：1年生 生活科の授業参観及び協議

日 時：令和3年1月28日（木） 午前9時30分～10時20分  
午後3時00分～ 4時30分

参 加：就学前教育保育施設職員1名（予定）

<保育参観後の協議へ小学校から参加>

大曲中央こども園、大曲南保育園、四ツ屋こども園、はなだて保育園、大曲北保育園、大川西根保育園、すくすくだけっこ園、西仙あおぞらこども園、なかせんワイワイらんどつきの木こども園、おおたわんぱくランド、

○教育分野に精通した教育・保育アドバイザーの配置により、学校教育へのアプローチがスムーズにでき、幼小連携の必要性の理解に繋がり、相互参観、協議への参加率が上がった。

○授業参観にとどまらず、協議に参加することで、小学校で目指す姿や、学習や生活とのつながりについて理解し、教育・保育に活かそうとする意識が高まってきている。また、園での育ちや学び、資質・能力等について改めて考えるよい機会となっている。

○相互参観参加により、互いに円滑な接続を目指した教育課程の編成に取り組もうとしている。

○小学校側にとっても「ゼロからのスタートではない」ことを参観や協議によってより理解し、学びのつながりを考えた上で6年間を見通した教育をスタートさせようとする意識が広がってきている。

●各小学校区での連携活動にばらつきがあり、園と小への連携構築の更なる働きかけが必要。

●連携協議会は組織されていても、連携の内容が交流活動にとどまり、育ちや学びの相互理解が薄い小学校区もあり、入学してから適応に難儀しているところもある。

●日常的に、気軽に情報交換したり共に研修したりできる連携までには至っていない。

◇研究協議会への相互参加によって、接続についての意識が高まり、連携の重要性を実感できるよう、園と小の橋渡しをする。

□就学期にかかわる教育・保育職員を対象として、幼小接続に向けた研修会を実施

日 時：令和3年2月9日（火）

演 題：「幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて」

講 師：秋田県教育庁南教育事務所 幼保推進班 主任指導主事 斉藤 丈彦 氏

演 題：「スタートカリキュラムの作成について」

秋田県教育庁南教育事務所 仙北出張所 指導主事 物部 長秀 氏

参加者：（予定）50名

※管内でコロナウイルス感染者が確認され、感染拡大防止のため中止の措置。

□教育・保育アドバイザーによる機関誌の発行

・幼小連携だより「だいせん元気っ子」（8月号～）

1. 幼小連携のアンケート結果を掲載

【内容】小学校区の交流活動の具体、相互参観や協議の参加の有無、連携活動年間計画作成の有無、スタートカリキュラム、アプローチカリキュラム作成の有無、連携の課題点等

2. 保育参観、協議に参加した小学校職員の所感、意見、課題等を掲載

【内容】「幼児期の終わりまで育ってほしい10の姿」「育みたい資質・能力」に基づいて

3. 保育参観、協議に参加した小学校職員の所感、意見及び県指導主事による指導、助言で捉

えておきたい文言等を掲載

【内容】5歳児の保育参観、協議

4. 大仙市保育実践力向上研修会の内容や参加した職員の所感、仙北市の公開保育研究協議会の内容紹介、小学校の授業研究会に参加した保育教諭の所感、等を掲載

【内容】本事業の研修会や公開保育研究会、小学校の授業研究会（図工・国語・道徳）

5. 中堅教諭等資質向上研修Ⅵの講義の一部や授業研究会で活用している振り返りカードを紹介、授業研究会参加保育士の所感

【内容】秋大の山名教授の講義抜粋、中仙地区の共通実践事項を踏まえた授業振り返りカードの紹介

○幼小接続のアンケートで小学校の状況把握ができ、教育保育アドバイザーによる情報発信（機関紙）を通じて、各園、各小学校及び当課、教育指導課で共有認識がもてた。

●育ちと学びの相互理解をさらに深めていけるよう、市教育指導課との連携を強化していく。

◇市教育委員会を通じて、校長会、教頭会、小学校訪問等の機会に、本事業についての報告や依頼をしてもらう。

#### （5）「県との連携体制の充実」

□県主催の連絡協議会等へ参加

□ADに学ぶ会へ参加

- ・仙北市：保育参観、アドバイザー協議会

日 時：令和2年11月20日（金）午前9時20分～午後2時40分

場 所：にこにここども園、仙北市役所西木庁舎

- ・横手市：保育参観、園内研修、アドバイザー協議会

日 時：令和2年12月3日（木）午前9時45分～午後3時50分

場 所：横手幼児園、横手市役所条里南庁舎

□事業実施市の研修会、公開研究協議会へ参加

- ・仙北市：公開保育研究協議会

日 時：令和2年10月16日（金）午前9時40分～午後4時00分

場 所：幼保連携型認定こども園 神代こども園

- ・横手市：保育実践力向上研修会

日 時：令和2年12月21日（月）午後2時00分～午後4時00分

場 所：雄物川コミュニティセンター

- ・仙北市：ファシリテーター研修会

日 時：令和3年1月19日（火）午後1時00分～午後4時30分

場 所：角館庁舎

□県指導主事要請訪問に同行し、教育・保育アドバイザーのスキルを習得する。

- ・市内の教育・保育施設21施設へ同行

○県主催事業、事業実施市の研修等に参加することで、アドバイザーのスキルアップに繋がり、事業実施市の研修会の参加により、事業推進に対する意欲が高められた。

○県指導主事訪問同行で各園の保育、子どもの理解への気付きができ、共通理解が深まった。

○近隣市との連携として横手市の研修会に参加し、内容・運営等参考にすることができた。

●県の連絡協議会が延期や中止となり、教育・保育アドバイザー間で情報交換をもつ機会が少なかった。

◇今後、事業実施市間での情報交換の機会を多くもち、保育の捉え方やアドバイスの仕方等について学びたい。

## 5 令和3年度の事業の構想

目的
<ul style="list-style-type: none"><li>・教育・保育アドバイザーが、継続して園の課題解決に向けた助言、支援をおこなうとともに、園内研修をより充実させるために、ミドルリーダー研修や保育士等の更なる専門性向上のための研修会を実施する。</li><li>・幼小接続がより深められるよう、市教育指導課との連携を更に強化していく。</li></ul>
実施内容
<p>(1) 「部局間連携による教育・保育推進体制の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育・保育アドバイザーを子ども支援課に2名配置。(継続1名、新規1名)</li><li>・事業計画を周知。(市内全教育保育施設及び小学校、市教育委員会)</li><li>・市内全教育保育施設及び小学校の年間行事、連携活動計画等の情報を収集。</li><li>・市教育指導課との連携を深めていくため、定期的に事業の進捗状況の報告、確認、情報交換、協議の場をもつ。</li></ul> <p>(2) 「教育保育アドバイザーによる園や保育者への充実した支援」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◇園訪問<ul style="list-style-type: none"><li>・定期訪問…市内全教育保育施設27施設(認可外含む) 前期 5月～6月、後期 11月～12月</li><li>・単発派遣訪問…随時受付</li></ul></li><li>◇園内研修への支援<ul style="list-style-type: none"><li>・保育内容の充実、保育士等サポート</li></ul></li></ul> <p>(3) 「専門性の向上のための研修の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◇保育士等がともに学び合う体制の基盤を固める<ul style="list-style-type: none"><li>・県指導主事要請訪問の機会を通じ、施設間での学び合いを定着させていく。</li></ul></li><li>◇ミドルリーダー育成のための研修会の開催<ul style="list-style-type: none"><li>日時：令和3年7月(予定)</li><li>講師：未定</li></ul></li><li>◇公開保育研究協議会と就学前教育保育合同研修会を同時開催<ul style="list-style-type: none"><li>日時：令和3年9月(予定)</li><li>講師：未定</li></ul></li><li>◇保育士等の資質向上のための研修会の開催<ul style="list-style-type: none"><li>日時：令和4年1月(予定)</li></ul></li></ul> <p>(4) 「小学校教育との円滑な接続に向けた研修等の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◇各小学校区の就学前教育保育施設職員、小学校職員とともに授業参観及び情報交換、協議をおこなない、幼小の相互理解を深め、円滑な接続への意識を高める</li><li>◇機関誌 幼小連携だより「だいせん元気っ子」の発行(月1回程度)</li></ul> <p>(5) 「県との連携体制の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◇アドバイザー連絡協議会、就学前教育推進協議会への参加</li><li>◇事業実施市の研修会や公開研究協議会へ参加</li><li>◇南教育事務所指導主事要請訪問に同行</li><li>◇南教育事務所指導主事等と事業の打ち合わせ</li><li>◇ADに学ぶ会の開催<ul style="list-style-type: none"><li>日時：令和3年11月(予定)</li></ul></li></ul>